平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1.	機関番号	1 4 6 0 3	2. 研究機関名	奈良先端科学技術大学院大学					
3.	研究種目名	基盤研究(B)	4. 研究期間	平成23年度~平成25年度					
5.	課題番号	課題番号 23370074							
6.	研究課題名	蛋白質の構造機能要素の抽出と応用の為	の基盤整備						

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
	カミクボ ヒロナリ	物質創成科学研究科	准教授
2 0 3 1 1 1 2 8	上久保 裕生		

8. 研究分担者

	矽	F 3	充	者	番	号		研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名	7
3	0	1	5	0	2	5	4	カタオカ ミキオ 片岡 幹雄	物質創成科学研究科	教授	
4	0	3	3	2	7	7	0	ヤマザキ ヨウイチ 山崎 洋一	物質創成科学研究科	助教	
				_							

9. 研究実績の概要

申請者らは、蛋白質一般に、アミノ酸配列の分断によって、構造・機能に著しい影響が生じる領域が存在することを示してきた。本申請研究では、これらの領域が、構造や機能の基本要素(エレメント)になっているとの仮説を実証するために、類似構造を有する「異種」蛋白質問でのエレメントの位置保存性を確認し、さらに、蛋白質問でのエレメントの交換可能性について検証することを目的として研究を行ってきた

異種」蛋白質間でのエレメントの位置保存性を確認し、さらに、毎口負担にのエレスフェルスはでは、「いまったは、ことにはして研究を行ってきた。
本目的のため、すでにエレメントの同定に成功していた黄色ブドウ球菌由来の核酸分解酵素(Staphylococcal nuclease, SNase)に加え、機能が異なるものの構造類似性を示すヒト由来転写調節因子p100のC未端ドメイン(TSN)に対してアラニン挿入変異解析を行った。その結果、立体構造上SNaseとほぼ同一の位置に、TSNの構造エレメントが存在していることが明らかとなった。この事実は、構造類似性を示す蛋白質間での構造エレメントの位置保存性を示唆するものである。機能エレメントを用いた機能移植の可能性を検討すため、SNaseの機能エレメントをTSNに移植した人工蛋白質を作製し機能評価を行った。その結果、作製した人工蛋白質は部分的に変性した構造を示したものの、SNaseが示す核酸分解活性を獲得していることが明らかとなった。以上の結果より、蛋白質間で機能エレメントを交換することによって、機能そのものを移植することが可能であることを示すことができた。本研究によって、アラニン挿入変異解析によって同定されるエレメントが、蛋白質の構造や機能を規定する要素であることを示唆すると同時に、蛋白質工学的手法への応用可能性を示すことができた。

10. キーワード			
(1) 蛋白質工学	(2) 分子設計	(3) フォールディング	(4) 酵素
(5)	(6)	(7)	(8)
11. 現在までの達成度 			
(区分)			
(理由) 25年度が最終年度であるた	め、記入しない。		
12. 今後の研究の推進方策	Ī		
(今後の推進方策)			
25年度が最終年度であるた	め、記入しない。		

13.研究発表(平成25年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(6)件 うち査読付論文 計(6)件

著 者 名			論	文	標	題				
	Theoretical analysi protein with multi-					nydro	igen I	bonds	s in p	hotoactive yellow
雑誌名		査読の有無		巻			発行	亍年		最初と最後の頁
Chem. Phys.		有	2	119		2	0	1	3	50-53
掲載論文の口	DOI(デジタルオフ	ブジェクト識別]子)							
10.1016/j.chemphys.2012.11.022.										

* * A			±&	**-	+## 6	3百			
	Preferential domain the interdomain lin		論 f HMGB2 de	文 etermine		題 ak intramo	olecular	inter	actions mediated by
雑誌名		査読の有無		巻		発行	亍年		最初と最後の頁
Chem. Phys.		有		419		2 0	1 1 3	3	212-223
掲載論文の	DOI(デジタルオフ	ブジェクト識別]子)			•		*	
10.1016/j.chemphys.2013.02.004.									

著 者 名			論文	標	題	
Junpei Yuasa		res of lanthani e europium(III)		ized lumin	escence from prote	ins covalently labeled
雑誌名	•	査読の有無	巻		発行年	最初と最後の頁
Chem. Commn.		有	49		2 0 1 3	4604-4606
	掲載論文のDOI(デジタルオフ	ブジェクト識別	子)			
10.1039/c3cc40331a.						

					.,,,
著 者 名			論 文 標	題	
Naokazu Inoue	Molecular dissection	of IZUMO1, a sp	perm protein essential	for sperm-egg fusion	1
	l a	査読の有無		発行年	最初と最後の頁
◆庄 日心 □		主肌の日無	<u> </u>	元17十	取例に取及の兵
Development		有	140	2 0 1 3	3221-3229
		 ジェクト識別子)		<u> </u>	
10.1242/dev.094854.2013					
			-^ I=	D.	
著者名 Mitsuhide Hamaguchi	Ctrustural Dagia of	Catania Dagga		題	. coli Based on Hybrid
雑誌名	Ĩ	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
PLoS One		有	8	2 0 1 3	e71618
	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	 ジェクト識別子)			
10.1371/journal.pone.0071618.					
			*^	D.T.	
著 者 名 Dian Novitasari	Excited State Prote	n Transfor in Elu	論文標 orescent Photoactive `	題 Vallow Protoin Conta	ining 7
	Hydroxycoumarin			. son . rotom conta	9 /
雑誌名	Ĩ	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Advanced Materials Reserch		有	896	2 0 1 3	85-88
	掲載論文のDOI(デジタルオブ)	ジェクト識別子)			
10.4028					

〔学会発表〕 計(38)件 うち招待講演 計(6)件		
発 表 者 名		発 表 標 題
上久保裕生	弱い相互作用で関連づけ	られたタンパク質分子集団の構造学的解析
学会等名	発表年月日	発表場所
国際高等研究所研究プロジェクト「分子基盤に基づく生体機能への打きとダイナミックネットワークの解明」2013年度第1回研究会プログラム	瑶ら 2013年04月21日 A	国際高等研究所、京都府木津川市
発表者名		発表標題
上久保裕生	Photoactive Yellow Protein	中の低障壁水素結合と近傍アルギニンの解離性
		発表場所
第13回日本蛋白質科学会年会(招待講演)	2013年06月12日~2013 年06月14日	とりぎん文化会館、鳥取県鳥取市
発 表 者 名		
芝るみ	黄色ブドウ球菌由来核酸分	た 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
	発表年月日	発 表 場 所
第13回日本蛋白質科学会年会	2013年06月12日~2013 年06月14日	とりぎん文化会館、鳥取県鳥取市
発 表 者 名		発表標題
上久保裕生	光センサー蛋白質の局所社	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第3回CIMoSセミナー(招待講演)	2013年06月28日	分子科学研究所協奏分子システム研究センター、愛知県岡崎市

		2 nix
発 表 者 名		発 表 標 題
上久保裕生	光センサー蛋白質からみた	階層間の連続性
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
国際高等研究所研究プロジェクト「分子基盤に基づく生体機能への揺らぎとダイナミックネットワークの解明」2013年度第2回研究会プログラム		国際高等研究所、京都府木津川市
発表者名	1	·
上久保裕生	折り畳み機構を踏まえた蛋	
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
NAIST未来開発コロキウム - 明日をつくる分子・人材ネットワーク(招待語演)	講 2013年08月09日	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科、奈良県生 駒市
発 表 者 名		発表標題
上久保裕生	X線溶液散乱法を用いたタ	
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
分子・物質合成プラットフォーム技術研修会 - 先端施設の利用機会と高度な技術支援の提供 - (招待講演)		お ホテル京阪 京都、京都府京都市
発 表 者 名		発表標題
Dian Novitasari	Excited-state proton transi	fer in fluorescent Photoactive Yellow Protein containing 7-hydroxycoumarin
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
International Conference on Advanced Materials Science and Technology 2013		University Gadjah Mada, Yogyakarta, Indonesia

		2 NX				
発 表 者 名		発 表 標 題				
松本昇紘	トリプトファン三重項寿命を用いたStaphylococcal nucleaseの主鎖の運動性評価					
<u> </u>	※ 士 仁 口 口	数 ± 担 cc				
学会等名 日本物理学会 2013年秋季大会	発表年月日 2013年00日25日~2013	発表場所 後島大学、常三島キャンパス、徳島県徳島市				
日本初注于五 2010年4八子八五	年09月28日					
発表者名		発表標題				
上久保裕生	機能を生み出す単位生体が					
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所				
生命システムにおける動的秩序形成と高次機能発現 第1回公開シンポジウム(招待講演)	2013年10月02日	岡崎コンファレンスセンタ・、愛知県岡崎市				
75 T T T	T	77				
発表者名		発表標題				
Mikio Kataoka	Tillie-Tesolved Lade Crystal	llography of photoactive yellow protein with 150psec time resolution				
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所				
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日~2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市				
発表者名	1	発表標題				
光 役 目 口 Megha Deshpande	Domain-Swapped Oligomeri	ization and Molten Globule State of Cytochrome c				
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所				
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日~2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市				

		2 5汉					
発 表 者 名		発 表 標 題					
Yoichi Yamazaki	Analysis of interaction sites	on the Photoactive Yellow Protein of Rhodobacter capsulatus					
学会等名	発表年月日	発表場所					
第51回日本生物物理学会年会	年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市					
発 表 者 名		発表標題					
Rumi Shiba	The role of the flexible loop	in Staphylococcal nuclease on its catalytic activity					
学会等名	発表年月日	発表場所					
第51回日本生物物理学会年会		国立京都国際会館、京都府京都市					
発 表 者 名		発表標題					
Dian Novitasari	Exited State Proton Transfe Hydroxycoumarin	er of Fluorescent Photoactive Yellow Protein Reconstituted with					
学 会 等 名	発表年月日	発表場所					
第51回日本生物物理学会年会		国立京都国際会館、京都府京都市					
発 表 者 名		¥ 表 標 題					
Kento Yonezawa	Protonation State of Arginin	ne 52 in Photoactive Yellow Protein					
学会等名	発表年月日	発表場所					
第51回日本生物物理学会年会		国立京都国際会館、京都府京都市					

		- 71/2
発 表 者 名		発 表 標 題
Keito Yoshida	X-ray Solution Scattering St	udies of PYP-Phytochrome Related Protein
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日~2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市
改 ± ± 4 ℓ7		▽ 士 +孫 日石
発表者名		発表標題
Emi Ohta	Analysis of unfolded structur	re of Staphylococcal nuclease mutants by using FRET
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日 ~ 2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市
発 表 者 名	1	
元 祝 日 日 Takahiro Matsumoto	Main-chain dynamics of stan	hylococcal nuclease in microsecond timescale
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日~2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市
発 表 者 名		
光 农 自 石 Toshiyuki Minemura	Local flexibility of denatured	光 松 作 歴 Structure and its relationship to non-local interaction in staphylococcal
	nuclease	
学会等名	発表年月日	発表場所
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日 ~ 2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市

	発表者名		発 表 標 題				
Toshio Morimoto		Extraction of Function Elen	光 化 原 歴 Extraction of Function Elements from Green Fluorescent Protein				
	学会等名	発表年月日	発表場所				
第51回日本生物物理学会会	丰会	2013年10月29日	国立京都国際会館、京都府京都市				
	発表者名		発表標題				
Mai Arakawa	70 K G G	Roles of functional elements	s transplanted into the artificial enzyme				
	学会等名		発表場所				
第51回日本生物物理学会经			国立京都国際会館、京都府京都市				
	7V ± + 47	Т	7% + AE DE				
光 表 者 名			発表標題 X-ray crystal structure analysis of the Photoactive Yellow Protein of Rhodobacter capsulatus				
Hiroshi Matsumoto							
	学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所				
第51回日本生物物理学会会	丰会	2013年10月28日~2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市				
	発表者名	<u> </u>	発表標題				
Yoshiaki Matsumoto		Analysis of equilibrium of in	termediate states of PYP by use of chimera proteins				
	学会等名	発表年月日	発表場所				
第51回日本生物物理学会全			国立京都国際会館、京都府京都市				

発 表 者 名		発 表 標 題
Masayoshi Noji	Protonation state of R52 at	the PYPM intermediate state
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第51回日本生物物理学会年会	2013年10月28日 ~ 2013 年10月30日	国立京都国際会館、京都府京都市
発表者名		
Hironari Kamikubo	Functional modification of a	protein by using element implantation
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
Sixth Korea-Japan Seminars on Biomdecular Sciences; Experiment Simulations (招待講演)		
発表者名		発表標題
Hironari Kamikubo	Exploring regulatory associa functional module	ation and dissociation processes of biological molecules constituting a
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions		キャンパスプラザ京都、京都府京都市
発表者名		発表でである。 発表を表でいる。 発表を表である。
Yoichi Yamazaki	Interaction sites analysis for	r the photoactive yellow protein of Rhodobacter capsulatus
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions		キャンパスプラザ京都、京都府京都市

		2 版		
発表者名	光 表 標 題			
Mariko Yamaguchi	Local disordered structure of measurement	of staphylococcal nuclease studied by tryptophan triplet state lifetime		
学 会 等 名	発表年月日	発表場所		
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions	2014年01月11日~2014 年01月12日	キャンパスプラザ京都、京都府京都市		
発表者名		.		
Takahiro Matsumoto	Loop dynamics of staphyloc	occal nuclease in microsecond timescale		
学会等名	発表年月日	発表場所		
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions		キャンパスプラザ京都、京都府京都市		
発表者名		発 表 標 題		
Toshiyuki Minemura	Local flexibility around tryptophan140 and its relationship to non-local interaction in disordered staphylococcal nuclease			
	発表年月日	発表場所		
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions	2014年01月11日~2014 年01月12日	キャンパスプラザ京都、京都府京都市		
発 表 者 名	<u> </u>	発 表 標 題		
Toshio Morimoto	Extraction of function eleme	ents from green fluorescent protein		
学 会 等 名	発表年月日	発表場所		
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions	2014年01月11日~2014 年01月12日	キャンパスプラザ京都、京都府京都市		

		- 711/2
発 表 者 名		発 表 標 題
Masayoshi Noji	Protonation state of R52 at the	pypm intermediate state
兴 A 笠 和	※≠左□□	♡ ± 18 €€
学会等名 The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of	発表年月日	発表場所 ャンパスプラザ京都、京都府京都市
Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions	年01月12日	マンハスノブリ 水旬、水旬が水旬で
発表者名		
Hiroshi Matsumoto	X-ray crystal structure analysis	s of the Photoactive Yellow Protein of
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions	2014年01月11日~2014 キ 年01月12日	ャンパスプラザ京都、京都府京都市
Yoshiaki Matsumoto	Analysis of Equilibrium of intern	nediate states of PYP by use of chimera proteins
		発表場所
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions		ャンパスプラザ京都、京都府京都市
発表者名		発 表 標 題
Emi Ohta	Statistical characteristics of unf	folded staphylococcal nuclease studied by FRET analysis
	光表年月日	
The 2nd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions		ャンパスプラザ京都、京都府京都市

	発 表 標 題					
Roles of f	Roles of functional elements transplanted into the			nzyme		
2014年0	1月11日~2014	キャンパスプラザ京都			所	
40191	20					
		· 発 表	標	題		
溶液散乱	を用いた多成分平					
			発	表場	所	
して」 2014年(年02月0	2月01日~2014 2日	理化学研究所播磨事	業所、身	兵庫県佐.	用町	
			出版	社		
			発行	行年	総	ページ数
発明者	権利者	産業財産権の種類	番号	出原	頁年月日	国内・外国の別
	第 2014年0 年01月1 溶液散乱 ででである。 では、 2014年0 年02月0	発表年月日 2014年01月11日~2014 年01月12日 溶液散乱を用いた多成分平 発表年月日 して」 2014年02月01日~2014 年02月02日	Roles of functional elements transplanted into the ar	Roles of functional elements transplanted into the artificial er	Roles of functional elements transplanted into the artificial enzyme	Roles of functional elements transplanted into the artificial enzyme

[取得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	1
					1

15.備考		